

産業部

■農林課関係

園芸メカ団地整備事業等については、昨年度からの継続1地区と今年度新規に取り組む1地区が事業を実施しています。



5月2日、鷹巣牧場では牛たちが広々とした牧場に入牧

今年の牧場運営については、5月2日に41頭が鷹巣牧場に入牧し、夏山冬里方式による低コストで健康な肉用牛の生産に向け、農家の生産活動の維持促進を図り、安定した農業経営の推進に努めていきます。

土地改良事業関係については、県営のほ場整備事業6地区、用排水施設整備事業1地区、水田畑地化基盤整備事業1地区が実施されています。

消防本部

■常備消防関係

平成31年3月から4月までの火災及び救助出場件数は、住宅火災が全焼1件を含む4件、救急出場件数は243件のうち急病が165件と最も多く、次いで一般負傷27件となっています。三次医療機関などへの転院搬送は37件で、うちドクターヘリによる三次医療機関への搬送は6件となっています。救助出場件数については、交通事故の8件となっています。平成9年に配備された森吉分署と合川分署の消防車を更新しました。



消防活動に予防啓蒙に活躍が期待される更新された消防車両

5月16日、秋田県消防防災航空隊と北秋田市消防本部救助隊員が薬師山スキー場を会場に山岳救助を想定した合同訓練を行いました。この訓練には、県防災ヘリ1機と航空隊員

7月7日に北欧の杜公園において開催される「2019あきた水と緑の森林祭」と同時開催の「第12回東北チエンソーアート競技大会」については、関係各機関等と連携しながら準備を進めています。

■商工観光課関係

4月26日に森吉山麓村興し会の主催により、北秋田市名物「バター餅」の出来栄を競う「第8回B.M.1グランプリ」がクウインス森吉を会場に開催されました。市内13団体と個人からクラシカル部門に5品、アレンジ部門には春をテーマにした作品など19品が出品されました。

くまくま園については、4月27日に開園し5月6日までのゴールデンウィーク期間中10日間で5914人が来場し、今年誕生した子熊のお披露目やひぐま舎運動場でのエサ隠し体験などを楽しみました。

アンテナショップ連携事業については、5月20日、21日に東京都板橋区ハッピーロード大山商店街で春のふるさとイベントが開催され、北秋田市特産品フェアとして特産品販売を行ったほか観光PRを行いました。

5名、消防車両5台と救助隊員22名が参加しています。資格取得については、第42回救急救命士国家試験に当消防本部職員2名が合格しました。

■非常備消防関係

4月1日付けで、新消防団長に戸島丈夫氏(阿仁小様)が就任しました。春の火災予防運動の初日には機械器具の点検、技術の向上を目指し4地区で全消防団員による一斉放水訓練を行いました。

教育委員会

■総務課関係

あきたリフレッシュ学園については、昨年度の学園生は20名で開園日数が204日、延べ利用者は891名でした。

小・中学校の整備については、令和2年4月の鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合に向けた鷹巣中学校校舎大規模改修工事、令和3年4月の鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校の統合に向けた、現鷹巣南中学校の校舎を改修するための設計業務委託、鷹巣小学校の床塗装工事と鷹巣東小学校の屋根防水シート張替え工事を発注しました。

■学校教育課関係

小・中学校入学式が4月5日から8日に行われ、小学校10校に154

建設部

■都市計画課関係

南鷹巣団地建替事業については第4期目に入り、建設工事の工事請負契約を5月に締結し、9月下旬の完成に向け、建築本體工事(11戸・木造平屋4戸建1棟、木造平屋3戸建1棟、木造平屋2戸建2棟)に着手しています。

■建設課関係

平成31年2月1日から平成31年4月30日までの道路関係工事等発注状況は、排水維持工事(本城新田目線)など2件、舗装維持工事(田子ヶ沢)など5件、交通安全施設工事(米内沢小学校線)1件、道路維持工事(元軌道鷹巣線)1件の道路等維持事業計9件のほか、道路改良工事3件、防災・安全交付金事業1件、河川維持工事1件、公共土木施設災害復旧工事4件を発注しています。

また、工事等の完成状況として交通安全施設工事(神成大岱線など)3件、道路維持工事(脇神、舟場線)1件の道路等維持事業計4件のほか、道路改良工事3件、防災・安全交付金事業9件、橋りょう補修工事(坊沢大橋)として道路・橋りょう等防災対策事業1件、河川維持工事2件、公共土木施設災害復旧工事2件、災害復旧工事3件が完成しました。

名、中学校5校に184名の児童生徒が入学しました。5月1日現在の児童生徒数は、小学校1117名、中学校624名で、合計1741名となっており、学級数は小学校が74学級、中学校が32学級となっています。

■生涯学習課関係

地域に根ざした生涯学習活動の拠点として栄公民館が完成し、4月1日にオープン記念式典を行いました。高齢者大学事業は、高鷹大学、合川ことぶき大学、森吉大学、阿仁生き活き大学の入学・開講式を終え、430人により新年度がスタートしています。

定期講座では、市民ふれあいプラザコムコムと11公民館で36の定期講座を開講し、市民が交流しながら積極的に学ぶことができる機会を提供しています。



伊勢堂岱縄文館でジュニアボランティアが活躍



橋りょう補修工事、一部完成した坊沢大橋

■上下水道課関係

鷹巣浄水場移転事業は、新鷹巣浄水場建設工事の躯体コンクリート打設が終了し、令和2年4月の本稼働へ向けて順調に推移しています。また、七座浄水場更新工事に伴う旧処理棟解体工事を発注しています。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の鷹巣字平崎上岱の一部、脇神字西陣場岱の一部、脇神字高村岱の一部、脇神字米ノ岱の一部、綴子字作坂の一部、綴子字菅ノ沢出口の一部、綴子字久太郎羽立の一部、綴子字佐戸岱の一部、綴子字田中表の一部、綴子字美田古の一部、綴子字田中上の一部16・3ヘクタールが4月1日に、脇神字川戸沼内悪戸の一部、脇神字平崎川戸沼の一部0.6ヘクタールが5月1日に、それぞれ供用を開始しています。

鷹巣処理区の供用区域面積は、394.2ヘクタールとなります。

伊勢堂岱遺跡は、見学者への安全対策を万全に行い、4月20日に現地公開をしています。4月27日から5月6日の大型連休中、伊勢堂岱縄文館には871人の来館者があり、ジュニアボランティアが遺跡のガイドを行いました。

■スポーツ振興課

4月20日、陸上競技シーズンの幕開けとなる「第57回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会」が開催され、小学生から一般まで市内外から156人(前年比11人減)が参加し、家族や仲間からの熱い声援を受け健脚を競い合いました。

5月29日に行われた、7年連続参加の今年度チャレンジデー2019の参加率は62.6%で、前年比0.4%の減となりました。



チャレンジデー開会式では市長、教育長、県生涯学習課長も参加し、ラジオ体操